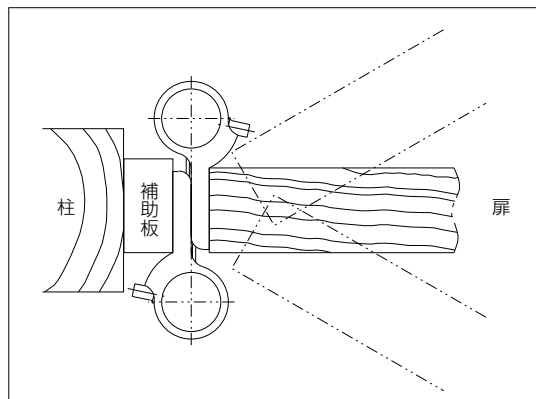


自由丁番

特徴

- 扉が内、外どちらでも開けることができます。
- 常に扉が閉じた状態に保つ様にバネが内蔵されています。



取付け手順

- 1 柱および扉の寸法に合わせて丁番をお選び下さい。
- 2 柱の幅寸法(図-1)が丁番の適合扉厚より広い場合は、丁番の適合扉厚範囲内の補助板を柱に取付けて下さい。(図-2)
- 3 調整穴に調整棒を差し込み、バネが働く方向へ回して調整ピンを抜いてから、丁番を柱と扉に皿タッピンねじで取付けて下さい。(図-3)
- 4 付属の調整棒を使いバネを効かせ扉の作動を調整して下さい。調整穴の位置を確認し、調整穴が上側の場合は図-4-1、下側の場合は図-4-2に従って調整して下さい。

図-4-1 調整穴の位置が上側にある場合は、調整棒を調整穴に差し込み軸に対して右に回転させ、調整ピンの位置を移動させバネの力を調整します。

図-4-2 調整穴の位置が下側にある場合は、調整棒を調整穴に差し込み軸に対して左に回転させ、調整ピンの位置を移動させバネの力を調整します。

※調整終了後キャップの緩みがないか確認して下さい。緩んでいる場合は上下のキャップを両手で締め付けて下さい。

※取付け完了後、扉を開閉してバネの力をご確認下さい。変更する場合は取付け手順4に従い再度調整を行って下さい。

※各種ねじの緩みがないかご確認下さい。(扉が落ちて思わぬ怪我をする恐れがあります)

※バネの力を調整する際は必ず取付け手順4の回転方向に従って調整して下さい。逆方向に回転させますと製品や扉の破損につながりますので絶対におやめ下さい。

※当製品はバネの力によって扉を開閉させますので指詰や扉との衝突には十分注意願います。

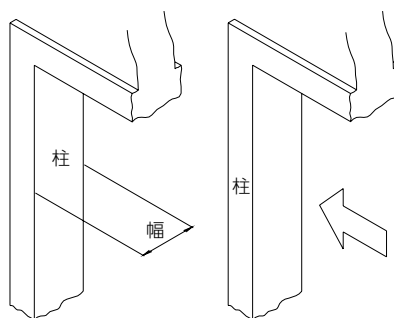


図-1

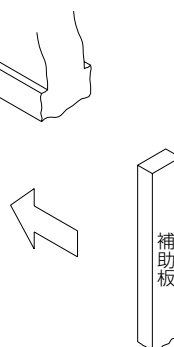


図-2

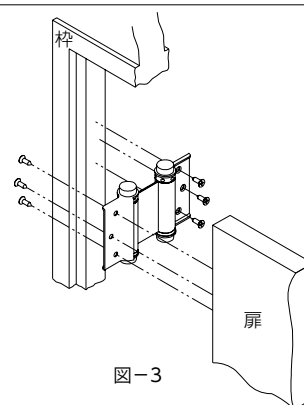


図-3

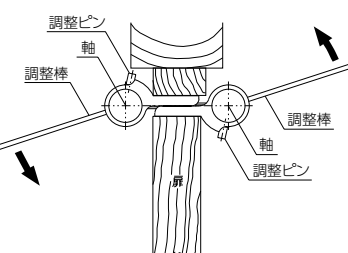
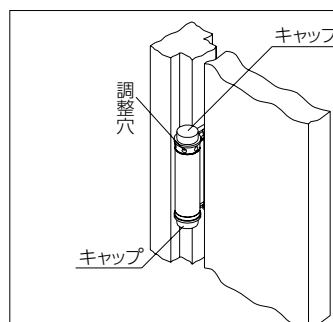


図-4-2 調整穴が上側にある場合

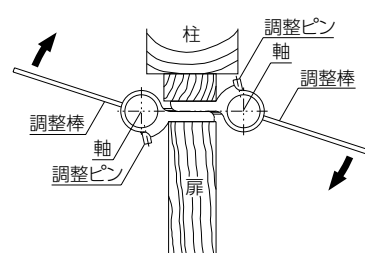
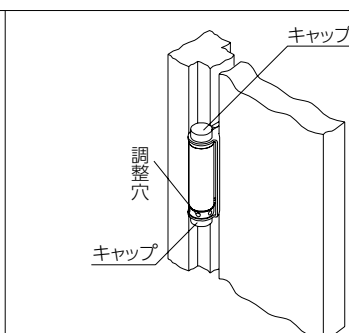


図-4-2 調整穴が下側にある場合

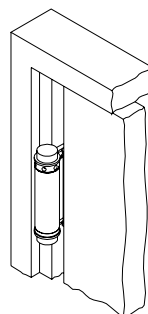


図-5 取付いた状態